

事業所名		児童発達支援 まほろば かのん				支援プログラム		作成日		令和7年	3月	17日
法人（事業所）理念		『興味のあること』『好き』を大切に、自己肯定感を高める療育を目指す。園、家庭以外の第3の場所を提供する。										
支援方針		担当の指導員固定で、完全個室のスペースにて個別療育を実施する。保護者様やご本人のニーズを把握し、年齢や発達段階に合った支援を提供できるようにする。 できること、やわかること、が増えて自信を力にしていけるよう、一緒に良いところを見つけていく。										
営業時間		13時	0分	19時	30分	送迎実施の有無		あり なし				
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	来所時には体温を測りご本人や保護者様と会話を交わして体調確認をする。靴や服の着脱やその管理、排泄誘導など、日常生活動作の支援もご本人のやる気を引き出しながら行なっていく。年齢に応じた時間管理や金銭感覚などを養い、自立するための生活スキルの習得を目指していく。										
	運動・感覚	時には広い場所や近くの公園に行き、体を動かすことによって発散していただくこともある。感覚統合がうまくいかないことも多いので、経験によって自信をもてるように創作活動や調理などを通して体の使い方を覚えていく支援を心掛けている。姿勢の保持や体幹強化などにも力を入れ、共に方法を探っていく。										
	認知・行動	感情コントロールに課題がある場合が多いので、ストレスや怒りの処理能力を高める方法を一緒に学ぶ。二次障がい等で精神のバランスを崩さぬよう心の健康を第一に考える。問題解決をしていく力をつけていくためには体験を積むことが近道だと思うので、ご本人の具体的な経験から対処法を獲得していく。										
	言語コミュニケーション	ソーシャルスキルトレーニングを望まれる利用者様も多いので、SSTの課題やゲームを取り入れることもある。まずは話したい伝えたい気持ちを大事にし、少々間違っている表現の時には否定ではなくベターな言い方の提案から入る。必要があれば、言語以外のコミュニケーションやボディランゲージ等も試してみている。										
	人間関係社会性	まずは担当との人間関係を学ぶ。開始時と終了時の挨拶、お礼や返事等が自然に出てくるよう支援する側が見本を見せる。他人との距離感や適切なトラブル対処を共に学ぶ。落ち込んでも立ち上がり再チャレンジできる強さと、他人を助ける優しさを育て、心から応援してもらえる人の育成に努める。										
家族支援		相談支援と互いに協力し合い、ご家族の困りごとを共に考え寄り添うスタンスでいる。個別に予約を取っていただいている。				移行支援		小学校教育が少しでもスムーズになるように一緒に考えていく。園生活や未就学の頃の状況を知って引き継いでいく。				
地域支援・地域連携		自立支援協議会や支援部会などにも積極的に参加する。同法人の相談支援や保育所等訪問支援とも連携して、園とも連携をとっている。				職員の質の向上		毎月の職員会議時には必ず内部研修や外部の専門家を招いての講習会を設けている。外部研修にも行く機会をつくる。				
主な行事等		母の日や父の日などに手作りのプレゼントを作ったり、クリスマスや正月などに制作をしたりする。バレンタインデーやホワイトデーにお菓子をつくることもある。夏祭りやクリスマス会ハロウィン企画などを同じ時間に通所する利用者やすることも稀にある。保護者会や勉強会も実施している。										